



## 2. 一次（二次）再試験・再認証試験・通常移行試験 受験申請書

一次（二次）再試験・再認証試験・通常移行試験の各申請書は、それぞれ、青色、桃色、黄色になっております。

### (e) 受験地コード、署名及び印鑑漏れ：

受験地区は、春秋で設定が異なるため、『日程表』で地区コードを確認して一次試験・二次試験受験地を記入すること。

署名は、自筆署名を行い横に押印すること。

通常移行の場合  
下記の①～⑤を記入・押印すること。

①, ②, ③ (省略)	}	
④一次試験受験コード	1	3
⑤受験者署名	非破壊 健太郎	

一次（二次）再試験及び再認証の場合  
下記の①～⑥を記入・押印すること。

①申請書提出日	2007年12月1日	
②一次試験受験地区	2	3
③二次試験受験地区	2	7
④, ⑤ (省略)	}	
⑥受験者署名	非破壊 健太郎	

拡大図

現在の勤務先や希望される送付先が、記載事項と異なる場合や TEL・FAX の記載が無い場合は、朱書きにて必ず追加・修正すること。

**JSDI**

受験に関する申請項目記入欄 (e) 注意事項欄

受験票送付先情報の欄

受験者情報欄

受験可能回数欄

通常移行試験及び再認証試験の方は、受験可能時期が書かれていますので、必ずご確認下さい。

## 3. 受験申請関係で寄せられる質問

Q1：受験申請書は、簡易書留で送らなければいけませんか。宅配便ではいけませんか。

A1：どちらでも構いません。(注) 受験申請書は、必ず送付した記録(控え)が手元に残るようにしてお送り下さい。またその記録は、受験票が届くまで大切に保管して下さい。

Q2：書留ではなく普通郵便で発送してしまったのですが、到着していますか。また、受け付けていただけますか。

A2：到着した申請書は不備がない限り受け付けします。(注) 到着しているかという質問に関しては、受付処理の関係上お答えすることができません。記録が残る形(配達記録・簡易書留・宅配便等)での発送をお願いします。

Q3：受験申請書を複数人数分まとめて発送したいのですがどのようにすればよろしいですか。また、一人で複数の受験は可能ですか。

A3：封筒の表に申請件数を記載していただければ、一つの封筒にまとめて発送することができます。また、『日程表』を確認して受験時間が重ならなければ、複数受験は可能です。(注) 受験申請書は、各 NDT 方法レベル毎にそれぞれ準備することが必要です。

Q4：現在出向しているのですが、連絡先は勤務先と出向先のどちらを書いたら良いですか。

A4：連絡がとれる連絡先を記入下さい。(注) 受験申請書の記載内容について当協会より、本人宛に確認する場合があります。そのため、電話番号及び FAX 番号は必ずご記入をお願いします。

Q5：二次試験からの受験を希望しています。受験申請書はいつ送ればいのでしょうか。

A5：一次試験受験者の受付と同じです。(注) 二次新規試験(レベル3で基礎試験合格済みの場合のみ申請可能)、二次再試験にかかわらず受験申請期間は、同じです。

Q6：二次新規試験、二次再試験の受験票はいつ頃届きますか。

A6：一次試験結果通知と同じ時期になります。(注) 日付は、『日程表』で確認して下さい。

Q7：試験会場はどこになりますか。

A7：受験票に会場案内図を同封致しますので、それまでお待ち下さい。

## MT 1 実技試験のポイント

NDT フラッシュでは、JIS Z 2305 による資格試験における実技試験の概要についてシリーズで解説している。既に2004年3月号でMTレベル1の実技試験の概要とポイントについて解説したが、今月号ではその後の変更と、受験者が誤りやすい失敗・その他の注意点について解説する。

MT 部門のレベル1には、MT1 と限定資格である MY1, ME1, MC1 の4 資格がある。MT1 の二次試験は、2 種類の実技試験（1.極間式磁化器による溶接部の磁粉探傷試験、2.定置式磁化装置による機械部品の磁粉探傷試験）が行われる。試験時間は表1に示すとおりであり、計60分である。極間法を対象とした MY1 では表1の(1)が、電流貫通法を対象とした ME1 及びコイル法を対象とした MC1 では表1の(2)が、各々30分の実技試験として課せられる。

表1 試験項目と時間

試験項目	時間
(1) 極間式磁化器による磁粉探傷試験	30分
(2) 定置式磁化装置による磁粉探傷試験 (電流貫通法, コイル法)	30分

また二次試験の当日には、控室にそれぞれの NDT 指示書が掲示される。これには試験体の寸法及び試験条件、試験手順、記録方法が記述されているので、試験開始前にこれを読んで、試験内容を十分に理解しておくことよ。

### 1. 極間式磁化器による溶接部の磁粉探傷試験

この試験の試験体は図1に示すような平板状で、鋼板の突合せ溶接部の極間法による磁粉探傷試験を想定している。試験の内容は前号と変更はなく、解答用紙は試験条件用と探傷結果用の2種類が準備されている。多く見られる失敗の例として、試験条件の解答用紙では、設問の内容が理解できていないのか、磁極の配置や探傷ピッチをうまく記述できない人がいる。また、探傷結果の解答用紙では、きずが検出／記録できていない場合以外に、位置・寸法の読み間違い・書き間違い・書き忘れ、試験片番号の記載漏れなどケアレスミスも目立つ。

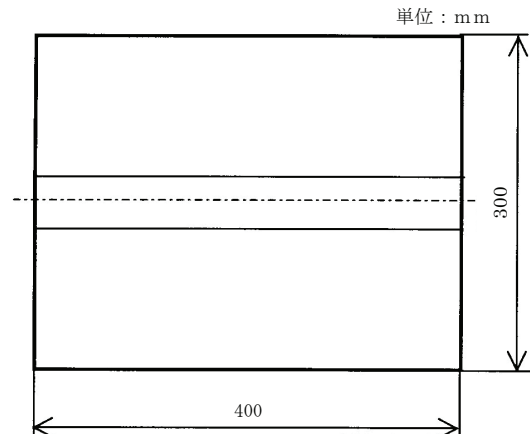


図1 溶接試験体の概略

探傷にあたって特に注意が必要な点を挙げると、きずの見逃し・検出不能の原因としては、次の3点などがある。

- (1) 検査液の適用量・適用時間の不足、適用の勢いが強すぎ流速が速すぎる
  - (2) きず部へ直接に検査液を適用し磁粉模様が明瞭に形成されない
  - (3) 通電時間の不足、適用時間と通電時間のタイミングが悪く形成された磁粉模様が一部流れてしまっている
- この探傷試験における手順や注意点は前号に詳しく解説されているので、前述の注意も考慮に入れて、再度よく読んでいただきたい。

### 2. 定置式磁化装置による機械部品の磁粉探傷試験

この試験は2007年秋期より、図2に示すような形状の試験体に変更になった。この機械部品について電流貫通法及びコイル法により磁粉探傷試験を実施する。極間法の場合と同様に、控室に掲示されたものと同じ指示書に従い、この指示書に忠実に、蛍光磁粉を用いた検査液（濃度0.2g/100ml、分散媒：水）により、外周面のうち指定さ

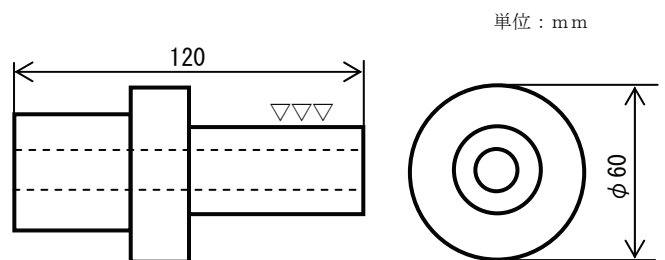


図2 機械部品試験体の概略

れた試験面について磁粉探傷試験を実施し、その試験条件と探傷結果を各々の解答用紙に記録する。

試験体の形状が変更されたことにより磁化条件も若干変更され、これに伴い試験条件の記録や探傷結果の記録方法についても若干変更された。

試験条件に対する解答では、従来どおり、試験条件の記録だけでなく、この試験に使用される装置、器材の機能や調整の知識、技能についても問われる。探傷にあたっては、磁化方法は電流貫通法とコイル法が指定されており、探傷の順序は電流貫通法から先に実施すること、また、試験面の分割数や通電時間なども指示されている。

次に、この試験体の外周面を探傷する場合を例に、この試験体の探傷試験で特に気をつけることを説明する。

磁化は電流貫通法から実施する。

①電流貫通法では穴に入るできるだけ太い電流貫通棒を選択する。

②探傷は、その後水平に保持した試験体の外周面を数回（3～6回程度）に分けて探傷するとよい。まず紫外線が適用する面全体によく照射されるように、紫外線照射灯の距離や角度を調整する。次に分割した試験面全面に均一に検査液を適用する。通電時間を長く取り、かつ、検査液をできるだけ緩やかに適用すると、明瞭なきず磁粉模様が形成されやすくなる。この操作を分割した試験面ごとに実施する。

③きず磁粉模様を検出したら、解答用紙上の試験体の展開図の適切な位置に形状をスケッチし、寸法等を記録し、次の試験面の探傷に移る。

次の面を探傷する前に、必ずブラシと洗浄水を用いて試験面の洗浄を行うようにする。

次にコイル法を実施する。

①試験体をコイルに入れ、磁化する状態で磁化電流値を設定する。継鉄棒を使用する場合は、継鉄棒が試験体と広い面積で接触するように設置する。

②試験体上面に検査液をゆっくり均一に適用すると、きず磁粉模様が形成されやすくなる。また、磁界の強いコイルの中央部で探傷するとより効果的である。なお、試験面の分割は4～8回が適当である。

きず磁粉模様を検出したらコイルから取り出し、解答用紙の展開図の対応する位置にスケッチし、寸法等を記録し、次の分割した試験面の探傷に移る。

電流貫通法、コイル法のどちらの磁化方法でも連続法

で検査液を適用し、指定された磁化電流値でかつ十分な通電時間を取り、静かな検査液の流れとなるように適用する。また、必要に応じ、磁化中に指を使って排液操作をすると観察や記録が容易になる（実技参考書を参照のこと）。

観察は、適切な照射角で試験面に適切な紫外線強度が得られるように紫外線照射灯を近付け、きず磁粉模様の見逃しがないようにする。また磁粉模様が検出されたなら、白色光下で試験面の表面状態を観察したり再試験を実施するなどして、疑似模様でないことを確認する。各試験面で検出されたきず磁粉模様の記録方法やその訂正方法は、原則として前号の内容と同様である。同一のきずでも磁化方法、磁化方向が異なると、きず磁粉模様の形状が変化することがあるので、その都度書き加えること。

試験結果は、主として探傷結果と試験条件の記録が重要な項目であるが、それ以外に、指示された電流値よりも過大な電流を通電したか否か、すなわち指示書に基づいて探傷試験を実施した（電流値など）かどうかについても採点される。

指示書では、探傷の対象となる試験面が指定されたり、検出されたきずの記入方法を指示されることがあるので、よく読んで試験を実施されたい。

失敗の多くは、次の3点が挙げられる。

- (1)探傷操作の不慣れによる、きずの未検出
- (2)きず磁粉模様を展開図に記入する際の位置の誤記
- (3)探傷条件の書き忘れ

これには定置式磁化装置を用いた実習の反復練習と注意が最大の対策となる。また、試験体の形状が変更されたため、特に検査液の流速を考慮し適用するとともに、通電時間を長く取る必要がある。

ME1 又は MC1 の試験では、MT1 と同一形状の試験体を、電流貫通法だけ／又は、コイル法だけで探傷試験を実施して解答する。試験の手順については前述の各方法の注意点を参考にして欲しい。

なお、本概要は平成19年秋期時点のものであり、今後また変更になることもあるので注意されたい。





# JIS Z 2305 非破壊試験技術者資格試験 新規受験申請書

受験申請日 (西暦) 2002年 02月 10日



社団法人 日本非破壊検査協会  
認証事業本部

試験種別	レベル	NDT方法①	NDT方法②	NDT方法③	NDT方法④	一次試験	二次試験	実技選択
102	P	T				23	27	0

個人コード	性別	生年月日 (西暦年月日)
P110078421	1	19660627

フリガナ勤務先名	ニホンジフン・シントウタンショウケンサコウギョウ
勤務先名	(株)日本磁粉・浸透探傷検査工業
勤務先電話番号	03-5821-5104
業種	10

勤務先名は20文字以内で記入  
会社形態は ( ) で囲み1文字とする  
例) 株式会社⇒(株)

フリガナ受験者氏名	姓 ヒハカイ	名 ケンタロウ	押印
受験者氏名	姓 非破壊	名 健太郎	
Name (ローマ字)	姓 HIHAKAI	名 KENTARO	

送付先指定	3	送付先名称 (20文字以内)	(株)日本磁粉・浸透探傷検査工業
所属部課名 (30文字以内)	非破壊検査部浸透探傷検査課		
受験者名又は担当者名	東京秋子		
連絡先郵便番号	都道府県市区郡	町村	
101-0026	東京都千代田区	神田佐久間河岸	
大字・小字	○丁目○番地○号	気付 (ビル名など)	
	67	MBR99ビル4階	
電話番号 (一で繋ぎ、左詰め)	FAX番号 (一で繋ぎ、左詰め)		
03-5821-5104	03-3863-6522		

E-mail Address k-hihakai@tesutocase.ne.jp ←E-mailに連絡しても良い方はアドレスを記入下さい

基礎試験合格番号 (レベル3基礎試験合格者のみ記入)	基礎試験合格有効期限 (西暦年月日)
K	20

受験申請したNDT方法の直下位レベルの認証番号  
N 00009362 ←レベル2の受験申請をされた方で、申請しているNDT方法のレベル1 (現在有効なもの) を保持し、訓練時間の軽減を求める場合は、申請しているNDT方法の認証番号を記入し、資格証のコピーを末尾に添付すること

NDT学習・貢献・訓練等開始日 (西暦)	NDT学習・貢献・訓練等終了日 (西暦)	添付書類枚数	合計訓練時間
19990607	20000001	5 枚	84

◆レベル1及び2受験者は必ず記入。レベル3受験者は必要に応じ記入 (訓練先ごとにまとめて記入)

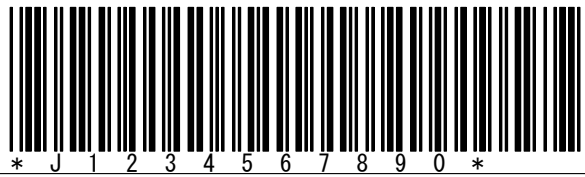
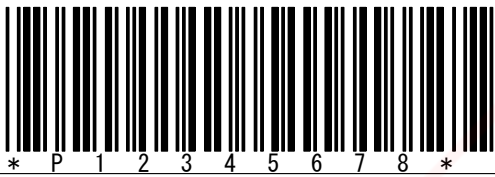
訓練先名称	訓練実施期間	延訓練時間	書類No.
(社) 日本非破壊検査協会	1999年06月07日~1999年06月10日	32 時間	1
(株) 日本磁粉・浸透探傷検査工業	1999年10月20日~1999年10月30日	16 時間	2~3
日本非破壊検査技術学校	2000年01月14日~2000年01月20日	36 時間	4~5
	年 月 日~ 年 月 日	時間	
	年 月 日~ 年 月 日	時間	
合計訓練時間			84 時間

◆レベル3受験者のみ記入 (該当する□に✓記入。訓練を受けた者は上表に記入)

NDT学習・貢献 (項目の後の ( ) 内に示された証明書の添付必須)	書類No.
<input type="checkbox"/> 個人的学習 (その学習に使用した参考書名、発行社名を記載した証明書)	
<input type="checkbox"/> 研究・論文発表 (その発表を行った場 (主催団体名、発表会名) とそのタイトルを記載した証明書)	
<input type="checkbox"/> 書籍・解説等の執筆 (その執筆した書籍名、発行社名、タイトルを記載した証明書)	
<input type="checkbox"/> 講演会・セミナー等に参加 (主催した団体名と会議名又はセミナー名を記載した証明書)	

本受験申請書の記載内容に相違ないことを証明します。

雇用責任者名	日本 康太郎	証明日 2002年 02月 10日
勤務先名	(株)日本磁粉・浸透探傷検査工業	
所属部課名・役職	非破壊検査部 部長	
勤務先住所	〒101-0026 東京都千代田区神田佐久間河岸 67 MBR99ビル4階	
TEL/FAX	TEL 03-5821-5104	FAX 03-3863-6522



JIS Z 2305非破壊試験技術者資格試験

C2000001



この受験申請書は2004年秋期試験  
にのみ使用できます。

受験申請書発行番号 J1234567890

受験年	2004年秋期		
試験種別	二次再試験		
NDT方法・レベル	UT・レベル2		
レベル3NDT方法	**	**	**
現有資格の認証番号	*****		
個人コード	P12345678		

①申請書提出日	2004年 7月 27日		
②一次試験受験地区	*	*	記入欄に「*」 が印字してある 記入欄は記入不 要
③二次試験受験地区	1	3	
④実技試験選択	0		
⑤レベル3再認証クレジット選択	*		
⑥受験者署名	非破壊 健太郎 <b>非破壊</b>		

これより下の印字項目に変更がある場合は、変更欄に赤字で記入してください

受験者氏名	非破壊	変更	健太郎	変更
フリガナ	ヒハカイ	変更	ケンタロウ	変更
NAME	HIHAKAI	変更	KENTARO	変更
生年月日	1966年06月27日生	変更	性別	1. 男性 2. 女性
勤務先名 (20文字)	(株)日本磁粉・浸透探傷検査工業 変更		業種	01. 検査 変更
勤務先名 フリガナ	ニホンジフン・シントウタンショウケンサコウギョウ 変更			
送付先指定	3. 担当者 1. 自宅本人 2. 勤務先本人 3. 担当者 変更			
送付先名称	(株)日本磁粉・浸透探傷検査工業 変更		非破壊検査部浸透探傷検査課 変更	
担当者名	東京 秋子 変更			
郵便番号	100-0026 変更	都道府県 市区郡	東京都千代田区 変更	町村 神田佐久間河岸 変更
大字小字条	丁目番地号		67 変更	気付ビル名 MBR99ビル 4階 変更
電話番号	03-5821-5104 変更		FAX	03-3863-6522 変更
E-mail Address	k-hihakai@jsndi.or.jp 変更			

切り取らないで下さい

C2000001

JIS Z 2305 非破壊試験技術者資格試験

受験申請書発行番号 J1234567890

①申請書提出日	本申請書の提出日を記入してください。		
②一次試験受験地区	日程表より希望する受験地区のコードを記入してください。		
③二次試験受験地区	日程表より希望する受験地区のコードを記入してください。		
④実技試験選択	実技試験方法に選択肢のあるNDT方法を受験する方は別紙記入方法より希望する選択肢を選び、そのコードを記入してください。		
⑤レベル3再認証クレジット選択	レベル3再認証試験対象者はクレジットシステム(「日程表」参照)を選択することができます。クレジットシステムを選択する方は「1」、選択しない方は「0」を記入してください。		
⑥受験者署名	受験者が自筆署名し、捺印してください。		

受験年	2004年秋期		
試験種別	二次再試験		
NDT方法・レベル	UT・レベル2		
レベル3NDT方法	**	**	**
現有資格の認証番号	*****		
個人コード	P12345678		

受験者氏名	非破壊	健太郎
フリガナ	ヒハカイ	ケンタロウ
NAME	HIHAKAI	KENTARO
生年月日	1966年06月27日生	性別 1. 男性
勤務先名	(株)日本磁粉・浸透探傷検査工業	





JIS Z 2305非破壊試験技術者資格試験

G1000001



この受験申請書は2004年秋期試験  
にのみ使用できます。

受験申請書発行番号 J20032410023

受験年次	2004年秋期		
試験種別	再認証		
NDT方法・レベル	PT・レベル2		
その他三種類のNDT方法	**	**	**
現有資格の認証番号	N12345678		
個人コード	P11007842		

①申請書提出日	2004年7月27日		
②一次試験受験地区	1	3	記入欄に「*」 が印字してある 記入欄は記入不 要
③二次試験受験地区	*	*	
④実技試験選択	*		
⑤レベル3再認証クレジット選択	*		
⑥受験者署名	非破壊 健太郎 <span style="border: 1px solid red; border-radius: 50%; padding: 2px;">非 破 壊</span>		

これより下の印字項目に変更がある場合は、変更欄に赤字で記入してください

受験者氏名	非破壊	変更	健太郎	変更
フリガナ	ヒハカイ	変更	ケンタロウ	変更
NAME	HIHAKAI	変更	KENTARO	変更
生年月日	1966年06月27日生	変更	性別	1. 男性 2. 女性
勤務先名 (20文字)	㈱日本磁粉・浸透探傷検査工業 変更		業種	01. 検査 変更
勤務先名 フリガナ	ニホンジフン・シントウタンショウケンサコウギョウ 変更			
送付先指定	3. 担当者 1. 自宅本人 2. 勤務先本人 3. 担当者			
送付先名称	㈱日本磁粉・浸透探傷検査工業 変更		非破壊検査部浸透探傷検査課 変更	
担当者名	東京 秋子 変更			
郵便番号	101-0026 変更	都道府県 市区郡	東京都千代田区 変更	町村
大字小字条	丁目番地号		67 変更	気付ビル名
電話番号	03-5821-5104 変更		FAX	03-3863-6522 変更
E-mail Address	k-hihakai@jsndi.or.jp 変更			

切り取らないで下さい

G1000001

JIS Z 2305 非破壊試験技術者資格試験

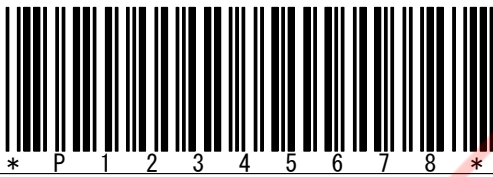
受験申請書発行番号 J20032410023

①申請書提出日：本申請書の提出日を記入してください。
②一次試験受験地区：日程表より希望する受験地区のコードを記入してください。
③二次試験受験地区：日程表より希望する受験地区のコードを記入してください。
④実技試験選択：実技試験方法に選択肢のあるNDT方法を受験する方は別紙記入方法より希望する選択肢を選び、そのコードを記入してください。
⑤レベル3再認証クレジット選択：レベル3再認証試験対象者はクレジットシステムを選択することができます。クレジットシステムを希望する方は(社)日本非破壊検査協会認証事業本部までお問い合わせ下さい。
⑥受験者署名：受験者が自筆署名し、捺印してください。

受験年次	2004年秋期		
試験種別	再認証		
NDT方法・レベル	PT・レベル2		
その他三種類のNDT方法	**	**	**
現有資格の認証番号	N12345678		
個人コード	P11007842		

受験者氏名	非破壊	健太郎
フリガナ	ヒハカイ	ケンタロウ
NAME	HIHAKAI	KENTARO
生年月日	1966年06月27日生	性別
勤務先名	㈱日本磁粉・浸透探傷検査工業	

本書のNDT方法・レベルの再認証試験の受験は  
今回を含め、次の次期にも受験することができます。  
2005年春期、2005年秋期  
本書は今期の受験申請にのみ使用できます。



JIS Z 2305非破壊試験技術者資格試験

G2007583



この受験申請書は2004年秋期試験  
にのみ使用できます。

受験申請書発行番号 J20030920110

受験年	2004年秋期
試験種別	通常移行 (移行試験あり)
NDT方法・レベル	PT・レベル2
レベル3移行試験合格番号	*****
NDIS 0601個人登録番号	1234567-PT2
個人コード	P11007842

①申請書提出日	2004年7月27日	
②レベル1統合	*	記入欄に「*」 が印字してある 記入欄は記入不 要
③レベル3複数受験	*	
④一次試験受験地区コード	1	3
⑤受験者署名	非破壊 健太郎	

これより下の印字項目に変更がある場合は、変更欄に赤字で記入してください

受験者氏名	非破壊	変更	健太郎	変更
フリガナ	ヒハカイ	変更	ケンタロウ	変更
NAME	HIHAKAI	変更	KENTARO	変更
生年月日	1966年06月27日生	変更	性別	1. 男性 2. 女性
勤務先名 (20文字)	㈱日本磁粉・浸透探傷検査工業 変更		業種	01. 検査 変更
勤務先名 フリガナ	ニホンジフン・シントウタンショウケンサコウギョウ 変更			
送付先指定	3. 担当者	変更	1. 自宅本人 2. 勤務先本人 3. 担当者	
送付先名称	㈱日本磁粉・浸透探傷検査工業 変更		非破壊検査部浸透探傷検査課 変更	
担当者名	東京 秋子		変更	
郵便番号	101-0026 変更	都道府県 市区郡	東京都千代田区 変更	町村
大字小字条	丁目番地号		67 変更	気付ビル名
電話番号	03-5821-5104 変更		FAX	03-3863-6522 変更
E-mail Address	k-hihakai@jsndi.or.jp 変更			

切り取らないで下さい

G2007583

JIS Z 2305 非破壊試験技術者資格試験

受験申請書発行番号 J20030920110

①申請書提出日: 本申請書の提出日を記入してください。
②レベル1統合: MY1種、ME1種、MC1種の3資格、または、PD1種、PW1種の2資格を所有している方は、MTレベル1またはPTレベル1に統合することができます。統合を希望する方は「1」、希望しない方は「0」を記入してください。但し、一つでも限定レベルとして移行を済ませている方は統合することはできません。
③レベル3複数受験: 複数の3種資格を所有しており、今回の移行受験において複数部門を受験する方は「1」、一部のみ受験する方は「0」を記入してください。但し、複数受験できるNDT方法は、本書のNDT方法の他に試験時間が重複しない一つだけです。
④一次試験受験地区コード: 日程表より希望する受験地区のコードを記入して下さい。
⑤受験者署名: 受験者が自筆署名し、捺印して下さい。

受験年	2004年秋期
試験種別	通常移行 (移行試験あり)
NDT方法・レベル	PT・レベル2
レベル3移行試験合格番号	*****
NDIS 0601個人登録番号	1234567-PT2
個人コード	P11007842

受験者氏名	非破壊	健太郎
フリガナ	ヒハカイ	ケンタロウ
NAME	HIHAKAI	KENTARO
生年月日	1966年06月27日生	性別
勤務先名	㈱日本磁粉・浸透探傷検査工業	

本書のNDT方法・レベルの通常移行は今回を含め、以下の次期にも受験することができます。  
2005年春期、2005年秋期  
本書は今期の受験申請にのみ使用できます。